



2020～2021年度 標語
「強い、絆で、未来を築こう」
諫早西ロータリークラブ
会長 野中英己



第1671例会 2020年 9月30日例会記録 NO.9 天候 晴れ

【本日】会員数 45名 出席 40名 欠席 1名 出欠不明 4名 (出席 0名) 出席率 97.78%
【9/23】会員数 45名 出席 44名 欠席 1名 (MU 1名) 免除 0名 出席率 97.78%

会長の時間

いろいろなものに「なんでやねん！」

時頭で、問題探し

AI(人工知能)が産業界に革命を起こそうとしています。2020年代の後半には、人に替わってAIが車を運転するとも言われています。人間の仕事をAIがやってくれる時代が、そこまで来ているのです。

でも、AIに何でも出来るわけではありません。逆にAIが普及するほど、人間の生身のアタマ、地頭(じあたま)が大事になってきます。元気な中小企業の経営者さんは、その地頭を活かした経営をしておられます。大阪のある文房具メーカーの経営者さんも、その1人。いろいろなものを見ては、「なんでやねん(なぜだろう)！」とおっしゃいます。理由を聞くと、「若い人はすぐに答えを求めたがるけど、大事なのは答えではなくて問題を見つけることや。」これは、ビジネスの真髄です。AIは、答えを出すのは得意ですが、問題は見つけれません。生身のアタマを活用して問題を発見することが、新しいビジネスにつながるのです。

「なんでやねん意識」で商品開発

この経営者さん。「なんでやねん」をタイトルにした本も出版されています。さらに、「なんでやねん手帳」を開発して社内に配布。社員は、仕事や生活のなかで気づいた「なんでやねん」を書き込みます。経営者さんは、その



野中英己 会長

手帳を時々回収してチェック。「百貨店で、こんな変わったものが売られていました」「うちの会議は長い。こんなに時間をかける必要があるの？」などなど、手帳には社員たちの疑問がいっぱい。そんな「なんでやねん」をヒントに新商品を考案したり、長い会議をやめるなど業務改善を図っているのです。

何事も当たり前と思わない

社員の「なんでやねん」が新商品につながった事例のひとつが、お花見用のピンクのレジャーシート。手帳に「お花見に敷くシートの色が、風景に似合わないブルーシートなのは、なんでやねん」という書き込みがありました。お花見に招待されたイタリア人が、日本人が見慣れたブルーシートに驚き、なぜブルーシートばかりなのか？と質問してきたそうです。

何事も当たり前と思わず、あらゆることに問題意識を持つことが大事。社会や職場の「なんでやねん」を見つけて、AIが考えつかないオンリーワン商品を開発しましょう。

会長／野中英己 幹事／宇土久 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日
例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
会報委員／草野 恵介・原田 典範・久保 泰正・清水 淳・吉田 健一郎
HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

幹事報告

例会変更および休会等なし

【お知らせ】

※太良嶽山金泉寺より

「秋の大祭のご案内」

開催日時：令和2年10月31日(土) 午前10時より

開催場所：太良嶽山金泉寺 本堂

※米山梅吉記念館より

「賛助会ご入会のお願い」館報 2020年秋号 Vol. 36」

※ガバナー事務所より

「2020年度 出前卓話一覧表(変更日程表)」

スマイルボックス

親睦活動委員会 長田 篤志 委員

野中 英己君：朝・夕、めっきり冷えてまいりましたが、皆様体調の方はどうですか？くれぐれも体調万全でロータリー活動宜しく願います。

荒木賢治郎君：球磨川の氾濫とか、その他にも災害が発生しているけど、ロータリーは何もしないのかしら。

宮本 峻光君：コロナ(ウイルス)はコロナ(太陽)の様でありますように！(穏やかに終息しますよう)

草野 恵介君：所用の為、早退します。

本日の合計 (9/30)	累計額
¥6,000	¥273,000

委員会報告



35周年実行委員会
森 委員長



会報・広報・雑誌委員会
原田 委員

〈35周年実行委員会〉

35周年記念祝賀会を10月14日に開催しますが、18:00集合、写真撮影の後、18:30開始と時間を変更します。

なお、ご婦人の参加が少ないので、来週まで受付を延長いたします。

〈会報・広報・雑誌委員会〉

『ロータリーの友』10月号には米山記念奨学会の特集が記載されていますので、ご参照の上、余裕のある方は寄付のご検討をお願いします。

クラブフォーラム

会員卓話



長田 篤志 会員

『自己紹介とお茶について』



浦江 芳征 会員

『自己紹介』

諫早西ロータリークラブに入会させていただきました。株式会社大山の浦江芳征です。1983年10月生まれの36歳、出身は大村市になります。父親が自衛隊ということもあり、幼稚園から小学校までは沖縄県糸満市に住んでいました。

長崎には大村市富の原に在住、高校から諫早に縁があり、鎮西学院高校に入学、大学は福岡大学物理学に進学いたしました。卒業後は、半導体業界で、三重県四日市市にて初社会人として忙しい日々を送り、現職では、商品出数管理、原価管理、メニュー管理、財務管理、店舗改装、新規店舗立ち上げ等に携わっております。

諫早西ロータリーへのお誘いをいただいた時には、自分にとっては

プラスになるであろうと思い、今後あらゆることに対しての機会であると考えました。

今年度の国際ロータリーテーマである「ロータリーは機会の扉を開く」を目にした時には非常に嬉しく思ったことを覚えております。

今後、少しでも皆様や地域に力になれるよう、何より自分自身の成長に繋がるよう努力してまいりたいと思います。宜しくお願い致します。